

株式会社エフエム茶笛

2020年度第3回番組審議会議事録

1. 開催年月日：令和2年8月6日（木）17時00分～18時00分

2. 開催場所：株式会社エフエム茶笛 2階 会議室

3. 委員の出席

委員総数：5名

出席委員数：5名

出席委員：水村雅啓（番組審議委員長）、河村香代子、
飯島静江、黒川進、若月真理子

放送事業者側出席者：代表取締役社長 荻野 喜美雄

専務取締役 東 たか子

放送局次長 宮岡 洋明

技術制作課長 秋山 知広

4. 議 題：番組の放送内容について

5. 議事概要：

議題に沿って委員より放送聴取の感想・意見・疑問点などを挙げていただき、他の委員と意見を交わす形式にて議事を進行、必要に応じて放送事業者側出席者が説明・回答しながら会を進めました。

6. 審議内容

委員長：

それでは、各委員の皆さんからご意見をいただきます。

委員：

常々感じている事ですが、入間市関連の情報番組は少し硬い印象があります。もう少し工夫があっても良いかと思えます。以前放送された「広報いるま号外」の解説特番放送で、水道料金半額の解説が対談方式でありました。少し分かりにくい部分がありましたので、もう少し分かりやすい解説を聞きだしてもらえたらと思いました。

委員：

少し前の事だと思えますが、他局の番組(ミュージックバード「アフタヌーンパラダイス」)で機材のトラブルなどがあり、スタッフの移動で、番組の進行が40分間程中断した事がありました。お尋ねしたいのですが、イオンスタイル入間内のサテライトスタジオでの放送で思わぬ事態が起こった時の対応はどのようになっているのでしょうか。

事業者：

イオンスタイル入間内のサテライトスタジオで機材トラブル等が起こり、音声に支障が出た場合ですが、高倉の本局に生放送回線を切り替えるシステムを構築しておりますので、速やかに放送継続を行う事が可能でございます。

委員：

様々な意見もあると思えますが、充実した番組編成だと思います。

地名の読み間違いや、誤ったイントネーションは、地元の住民には違和感を覚える瞬間もありますが、地元の放送番組として市民との交流を深めながら良い番組を組み立ててもらいたいと思えます。

新型コロナウイルスの状況の中、家に閉じこもっている高齢者に向けた番組は、特に必要だと思います。外部との接触がなく、ストレスも溜まり、大変な時期ではありますが、一日も早く今まで通りの生活に戻れたらと願っています。

素晴らしい地元のFM放送局だと思っています。地元の放送番組として、市民と共に、為になり効果がある放送番組に今後とも期待します。

事業者：

地名の読み間違い、イントネーション改善については、引き続きパーソナリティ全体に指導してまいります。また、ステイホームの高齢者向け番組については、今後の番組制作において参考とさせていただきます。

委員：

コロナ禍の中、どのような番組作りをしているのか気になりました。パーソナリティは臨機応変に対応をしていたと思います。峰ゆうこさんの番組は、我々世代の曲が聴くことができ、話し方が綺麗で好感が持てます。番組作りが良くできていると感じました。興味のある話には耳をかたむけ、それ以外は爽やかな音が流れているという雰囲気がコロナの状況の中で印象的でした。

委員：

緊急事態宣言中に放送していた、小中学校の先生の番組（あつまれ！いるまっ子）は、子供たちを大切に考えている事が伝わり、好感が持てました。先生の声が、我々世代に聞こえるのは嬉しいと思うと同時に、番組作りに敬意を表します。

入間市以外の観光協会の話が非常に面白いと思いました。狭山市智光山公園こども動物園園長の話も楽しかったです。コロナの状況を逆手にとって、番組に反映させていると思いました。

委員長：

これで、審議を終了させていただきます。

（以上で議事終了）

7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

審議機関の答申又は改善意見の内容	事業者による対応措置	対応措置の実行年月日
地名の読み間違い、イントネーションの改善	パーソナリティ全体へ指導	8月12日

8. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

本議事録を、下記の日時、方法にて公表・閲覧可能と致します。

- ・ 8月13日より、弊社ホームページ（URL <http://www.fmchappy.jp>）にて掲載。
- ・ 8月30日（日）午前7：00～7：27「番組審議会レポート」にてラジオ放送。
- ・ 書面：自社来客用窓口に据え置き

9. その他の参考事項

特になし。

以上